

温々 ギャラリー案内 2026年1月～6月〈上半期〉

〒337-0001 埼玉県さいたま市見沼区丸ヶ崎1856
TEL/FAX 048-686-3620 WEB cafe-nukunuku.com

1月6日(火)～1月18日(日) 高木叔子 陶展	新しい年を迎え、幸せな"兆し"を見つけに歩き始めます。 土から生まれる形、いつもワクワクしていきたいとおもいます。
1月20日(火)～2月1日(日) 中村眞美子 銅版画展 「風景の在処」	風景は、見る人が作り出すもので人の心の中にあると思います。 初めての展示です。どうぞ宜しくお願い致します。 <ギャラリーすぎきプロデュース>
2月3日(火)～2月15日(日) 吉澤 浩 陶展 「たんたんてん11」	色・形・模様 相も変わらず三十数年作り続けて参りました。 特に目指すモノもなく、強いて言うならば気の利いた器が作りたいと言ったところでしょうか。 しかし、それこそが一番手強かったです。
2月17日(火)～3月1日(日) 尾形かなみ(ガラス)・森田節子(ワイヤー) 「トキノアワイ～await」	～ 冬の終わり 暖かな春を待つ ～ 淡い間をテーマに作品を作りました 温々さんのお食事を待つあわいにご覧いただけると幸いです
3月3日(火)～3月15日(日) 本間和花子 個展 「in the room」	栃木県益子町で焼き物を制作しています。 会うこともないあなたの部屋に訪れるための扉としての割れ物
3月17日(火)～3月29日(日) スカンクとアルマジロ 「革ものと衣服」	<革もの>手作業だからこそできるということを意識した手裁ちや手縫いによる革もの、端材による造形物など、生きものの革といういただきもの、余すことのないものづくりをしています。 <衣服>遠州産地にて織られたリネン、インドやラオスの手紡ぎ手織りのコットン。自分自身が感じている素材の持つ風合いや魅力を伝えられるような衣服をつくっています。
3月31日(火)～4月12日(日) 佐藤淳・照井克弘・八木由紀子 会津のうるし三人展	「ほんとうの漆のものを知って欲しい」という想いから続いてきた会津の漆展がまた開催される運びとなりました。長い系譜のなかで入れ替わりも有りますが漆のもの、木のもの、それぞれ違う表情をお楽しみ下さい。
4月14日(火)～4月26日(日) 陶工房しゅうと 食器展	こだわりは「ご飯が美味しく見えて使いやすいこと」と、単純明快です。 独立以来続けている粉引を軸に、地元(仙台)の素材を使った黄釉・赤釉と作品の幅も広がってきました。温々での初個展、とても楽しみです。
4月28日(火)～5月10日(日) アトリエPOPPO 「風とうたう」	栃木県那須塩原市で活動しているアトリエPOPPOです。温々では4回目の個展となります。花のモビールや飛行船のモビールなど空を楽しく飾る作品をメインとして壁飾りや壁掛け時計、アクセサリーなども展示します。ぜひともご覧ください。
5月12日(火)～5月24日(日) 今井茂淑 京子 「古材家具展 #final」	里山のアトリエ DEWが温々へやってきます。巡り合った古材の物語に耳を傾けて仕上げた家具たち。琥珀やアンティークビーズのアクセサリーも一緒にご紹介します。 今後は、南房総の地でお会いしましょう！
5月26日(火)～6月7日(日) 黒田真琴 モノクロ写真展 「Travessia トラベシア」	旅に出る時、心はこの世を知らない真っさらな子供のようにになります。 たくさんの出会いと別れ、光と影、船出する想い。 再訪したモロッコを中心にフィルム撮影、手焼きの手法で捉えたかけがえのない旅の記憶。
6月9日(火)～6月21日(日) 田中俊介 「杜の鎚音2026」	金属でキッチンツールやダイニングツールを制作しています。カタイイメージがある金属ですが、毎日素材に向き合ってゆくと、温かく柔らかい表情を見せてくれます。そんな違ったイメージの作品を見ていただきたいです。
6月23日(火)～7月5日(日) 詫摩まり(ガラス) + nori paper flower(紙の花)	まるで生き物みたいな不思議なガラスたち。 温々の空間にタネをまいたら、むくむくとお花がたくさん咲きました。 自由に摘んだり組み合わせたり、ワクワクを楽しむ時間です！

10:30 open ~ 20:00 close 月曜定休日(祝祭日は翌日振替)